

# CASBEE® 京都-新築

# 標準システム 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

<b>1-1</b>		<b>1-2</b>	
建物名称	(仮称)ライオンズ烏丸丸太町 新築工事	階数	地上5F
建設地	京都市中京区室町通丸太町下る道場町11番1(一部)	構造	RC造
用途地域	近隣商業、準防、歴史遺産景観地区(一般)、近隣住宅(保全、埋蔵文化財、15m第三種)	平均居住人員	76人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年12月19日
敷地面積	766㎡	作成者	藤原武士
建築面積	528㎡	確認日	2017年12月20日
延床面積	2,146㎡	確認者	平野哲也



**2-1**

**BEE = 1.4**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

**2-2**

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 83%  
③上記+②以外の 79%  
④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

**2-3**

Q スコア = 3.1

LR スコア = 3.4

**2-4**

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.1

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 3.3

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 2.9

**Q3 室外環境 (敷地内)** Q3のスコア = 3.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.9

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.1

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.2

<b>3 総合</b>		その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギーに優れた住環境。</li> <li>京都らしい外観デザイン。</li> </ul>		
<b>Q1 室内環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内装材にはすべてF☆☆☆☆製品の使用。</li> </ul>	<b>Q2 サービス性能</b>
<b>LR1 エネルギー</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電設備を設置。</li> <li>LED照明使用。</li> </ul>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>屋上緑化。</li> </ul>
		<b>LR2 資源・マテリアル</b>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域産木材使用。</li> </ul>
		<b>LR3 敷地外環境</b>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>光害の抑制に配慮。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される